

事業実績シート



協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	英語による長与町国際コミュニケーション活動（通称 NICE）事業			
所管局部課	自治体（団体）名	所管部・課名	担当者名	連絡先（TEL）
	長与町	教育委員会学校教育課	木須 美樹	095-801-5681
事業期間	開始年	平成 29 年 4 月 1 日 （1 年目）		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	（開始日）平成 29 年 8 月 1 日		（完了日）平成 29 年 8 月 31 日	
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先（TEL）
	（委託内容）			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）	
	長与町立中学校 1 年生全員		① 英語学習への意欲向上を図る。 ② 異文化及び自国文化に対する理解を深める。 ③ グローバル化の世界に対応できる思考力、判断力、表現力の向上を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>本事業は、長与町英語力向上事業の一環として本年度からスタートさせた新規事業である。小学校で培ったコミュニケーション能力の素地を生かし、外国人と英語で交流する楽しさを体験させることで、これから本格的に英語学習に取り組んでいく中学 1 年生に、英語に対する関心及び学習意欲の向上を図るものである。また、本事業は県立大学シーボルト校との共催事業であり、会場を町内にある大学とし、中学校毎に 5 日間に分けて実施した。生徒達が地元の大学について知り、学ぶ機会にもなった。</p> <p>具体的なプログラムとしては、1 人の外国人スタッフにつき、4～6 人の生徒でグループを作り、午前中は、ゲームを通して英語を使い、英単語や英文の練習に取り組んだ。午後からは、各グループ毎に外国人スタッフと英語で会話をしながら、キャンパス内の特徴のある施設を見学した。生徒達は、1 日中外国人と英語のみで過ごし、失敗を恐れず英語で話してみることで、外国人とコミュニケーションが取れることを実感することができた。そして活動を通して、もっと英語を勉強したい、知識を高めたいという英語学習意欲を高めることができた。</p>			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	（事業開始の背景）			
	昨年度、長崎県が中学 1 年生を対象に実施した「イングリッシュキャンプ事業」を引き継ぎ、長与町バージョンを企画し、町単独事業として実施した。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	（経緯・現状）			
	県事業のように、多額の予算を確保できないため外国人スタッフは民間委託とせず、県内高校等に個別で ALT の派遣を依頼した。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)				225,521				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金			180,416				
	一般財源			45,105				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	英語学習への意欲が向上した参加者の割合	アンケート結果で意欲が向上した生徒の割合	%	目標			90.0
					実績			97.4
				目標達成率 (%)			108	
	②			人	目標			
					実績			
				目標達成率 (%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 	(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 学年間で英語教育における不平等が生じる	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		実際に外国人と話す機会を設けたことで、モチベーションが上がった。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 中学2年生または3年生になった時に、再度外国人と活動する機会を設定することで、新たな目標ができ更に学習意欲が深まると考えられる。将来的には、中学生の間にもう一度英語で交流できる場を設けたい。	
実施予定 期 日			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		学校教育の一環としての取り組みのため受益者負担は考えていない。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	
実施予定時期					
具体的内容	来年度も今年度と同様に中学1年生全員を対象に実施する予定。今年度の反省点を基にプログラム内容を若干見直し、よりよい事業とする。				